

# 第1回 みよし手づくりプロジェクト 概要

## ◇開催内容

- 日 時 平成22年8月10日(火) 13:30～16:40  
場 所 三芳農村改善センター 展示室  
参加者 会員31名中23名  
配布資料 ①第1回みよし手づくりプロジェクト次第 ②名簿 ③座席表 ④三芳地区統計資料  
⑤「自分たちのまちを、トンボの目で見てみよう！」  
～みよしの宝・課題を考える～  
⑥地域づくり協議会の概要 ⑦市民協働による地域づくり

### タイムスケジュール

1. 開会(13:30-13:31)
2. 挨拶
  - ・発起人代表挨拶(13:31-13:35)
  - ・市長挨拶(13:35-13:40)
3. 自己紹介(13:40-13:45)
4. 地域づくり協議会概要説明(13:45-13:50)
5. 市民協働による地域づくり講演／千葉工大鎌田教授(13:50-14:10)
6. 懇談会形式での話し合い(ワークショップ)(14:20-16:30)
7. その他(16:30-16:38)
  - ・次回会議について
  - 「平成22年9月8日(水) 三芳農村改善センター展示室にて19:30から開催」
  - ・参加者名簿の作成について「氏名、住所、電話番号の記載許可」
  - ・会員の写真の使用について「インターネットや協働通信への記載許可」
8. 閉会(16:38-16:40)



## ◇会議の概要

### ・市長挨拶

- ・「みよし手づくりプロジェクト」とは、南房総市が進めている市民との協働のまちづくりの一環とした事業です。
- ・地域づくりにとって、一番大きな力は市民力です。
- ・市民力とは、市民だけの力ではなく、行政職員も市民のひとりとして、一緒に考え行動していくものです。
- ・市の行財政改革が進む中、三芳地区の良さや課題について、忌憚なく意見を出して、1つの方向にまとめていただきたい。

### ・市民協働による地域づくり（鎌田教授）

- ・これから行財政改革として、行政職員も減少し手薄になるなか、市民からの多様なニーズに応える為には、地域の人材が関わっていかなくてはならない。
- ・自助・共助・公助の中で、共助を拡大していくことが重要である。
- ・よく行財政改革が最初の目的だと思われるが、そうではなく結果的に行財政改革も出来上がって、それが協働の大きな目標になる。
- ・市民と行政は持ち味が違う。お互いの違う長所を活かしながら、一緒に考え行動することで、地域は元気になっていく。

様々なことが変わる節目にきている中、市長や行政職員がその役目を果たすのは当たり前ですが、まちづくりの一番大きな力は市民力に間違いありません。



行政がいくら「協働のまちづくりには、良いことがある」と言っても、市民は「自分にメリットがあるのか？」という思いは当然ある。協働のまちづくりには参加することにより、「人に喜んでもらえる」、「地域がどんどん元気になってくる」という、言葉では説明できない喜びや感動がある。



# 三芳の宝(魅力)

A班

## 文化的な遺跡

### 史跡文化財が多い

- 三芳には多くの文化財がある
- 文化財の宝物 寺、神社
- 安房国の国府が置かれた歴史がある
- 戦争遺跡 山名,中,下滝田等

### 里見氏関係の歴史名勝がある

- 南総里見八犬伝の最初の舞台(滝田城)がある
- 歴史に残る遺跡里見八犬伝
- 里見氏関係の歴史・名勝がある
- 里見氏関係の歴史・史跡がある
- 里見氏ゆかりの城(寺)などがある

### 頼朝伝説ゆかりの地がある

- 頼朝伝説  
隠れ井戸、五十騎橋

## 自慢できる自然

- ハイキング植物観察できる場所が多い(大日山、海老敷、山名金比羅山、三坂)
- うるさいほどの虫の声 カエル,セミ
- 豊かな自然(動植物)とのふれあい
- パワースポットがある(坊滝、巨木)
- 美しい田園風景

## 伝統の受け継ぎと創造

### 増間に伝わる昔話や御神的行事がある

- 増間の昔話
- 増間のおまと

### 伝統芸能が盛ん

- 地域に伝わる伝統芸能  
安房八幡太鼓
- よさこいソーランが盛ん

## 住みやすい地域

### 子育て環境に恵まれている

- 地域全体での子育て
- 子どもを地域の宝として扱ってくれる
- 幼稚園の園庭が広い

### 元気な高齢者が多い

- 盛んな老人スポーツ  
ゲートボール グランドゴルフ

### 人情あふれる三芳

- 濃密な近所付き合い
- 細やかな人情

## 年間を通じて盛んな農業

### 安心して食べられる野菜果物

- 新鮮野菜
- おいしい豊かな果物  
ミカン、イチゴ、ブドウ
- 有機農業が盛ん トウモロコシ狩り 観光農園

菜花  
カーネーション  
バラ

村長さんは  
農業に力を  
入れていた

### 農道まで整備されている

- 農業の後継者不足

### 直売所

### 道の駅

- 三芳道の駅がある  
農産物直売所

- 後継者不足
- 子どもたちに元気な高齢者が農業体験を行う

# 自分たちのまちをトンボの目で見よう!!

～三芳の宝(いいところ、コト)を考える

## 自然環境が素晴らしい

### 豊かな自然に恵まれている

- 温暖な田園風景
- 自然環境が豊か
- 川が地域の中心を流れている
- ネオンのない農村風景が良い
- 久しぶりに「ホタル」を見つけた感動した
- 中堰の自然に親しむ利用施設が良い

### 景色のいい山がある

- 金比羅山頂の夜景が良い
- 五月初旬の山は特に美しい(山笑う)(スタジイ)
- 高所からの館山方面の眺望がよい
- 大日山がある
- 車でチョコッとドライブに行くと海が見える
- 一度は行きたい坊滝!!
- 沢山不動の吊り橋、もみじ

## 地域おこしが盛んである

- 活動サークルの発表会がある
- 三芳の夜祭り
- 八幡太鼓をずっと残したい!!

## 災害が少なく安全で住みやすい

- 災害が少ない
- 住みやすい環境

## 和気あふれる人々がたくさんいる

- お庭の手入れが行き届いて美しい
- 人付き合いのしやすい地域
- 散歩の途中、農家の方があいさつをしてくれる(小学生も)

## ここを中心に発展させる

### ヒナの里が楽しい

- ヒナの里が楽しい

### 自然農業、観光農業が盛ん

- 自然農業の知名度がある
- みかん狩り、イチゴ狩りなど観光農業が盛んである

### 公共施設が充実している

- 公共施設が充実している

## 頼朝伝説がある

- 源頼朝伝説がある
- ヤグラ井戸(池之内)

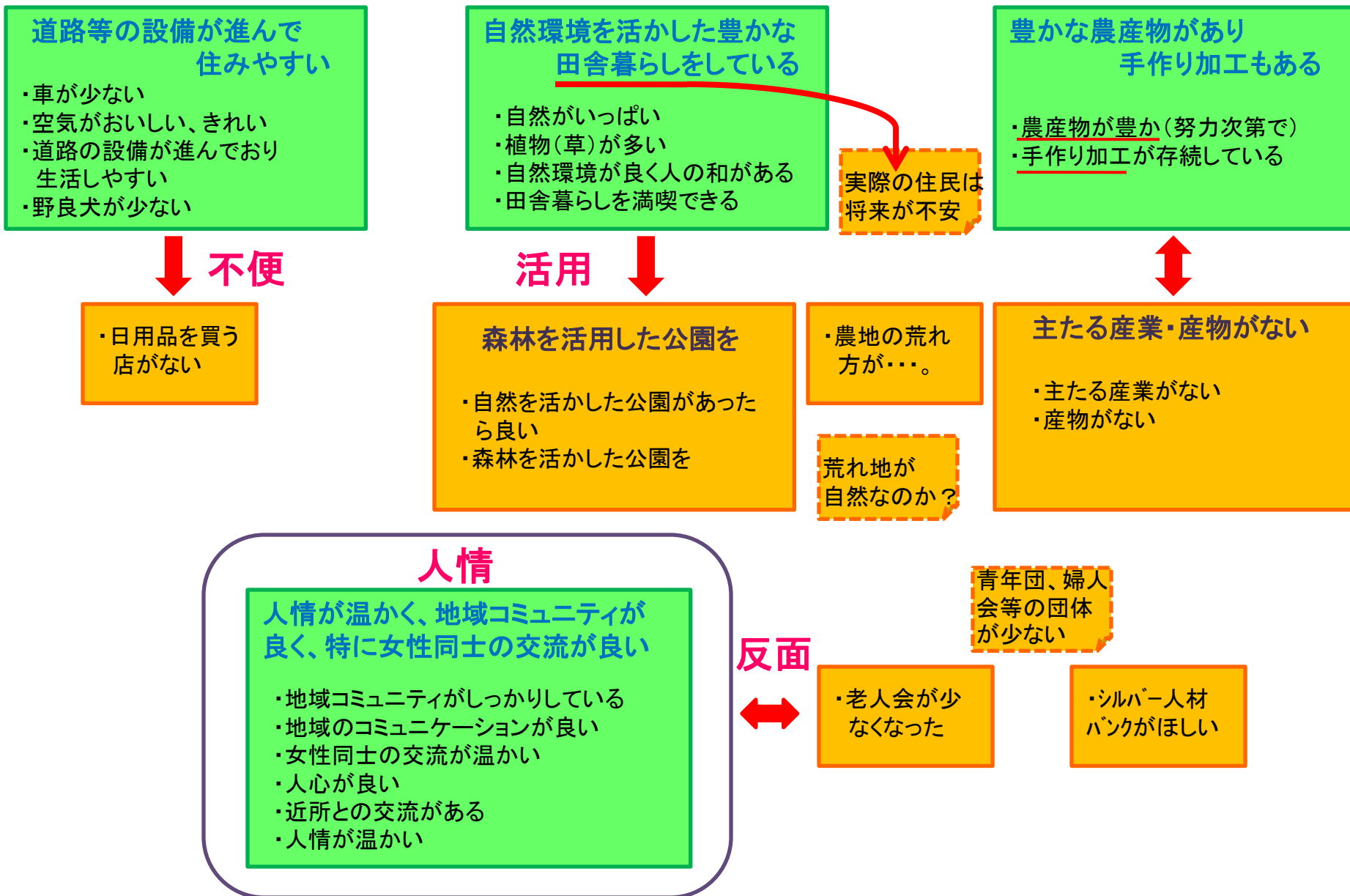
## 素晴らしい文化財がある

歴史的な寺院がある  
延命寺の地獄極楽絵図が素晴らしい

長い歴史に支えられ!

# 「自分たちのまちを、トンボの目で見てみよう！」

C班 杉田・福原・川名・森川・藤平・牧野

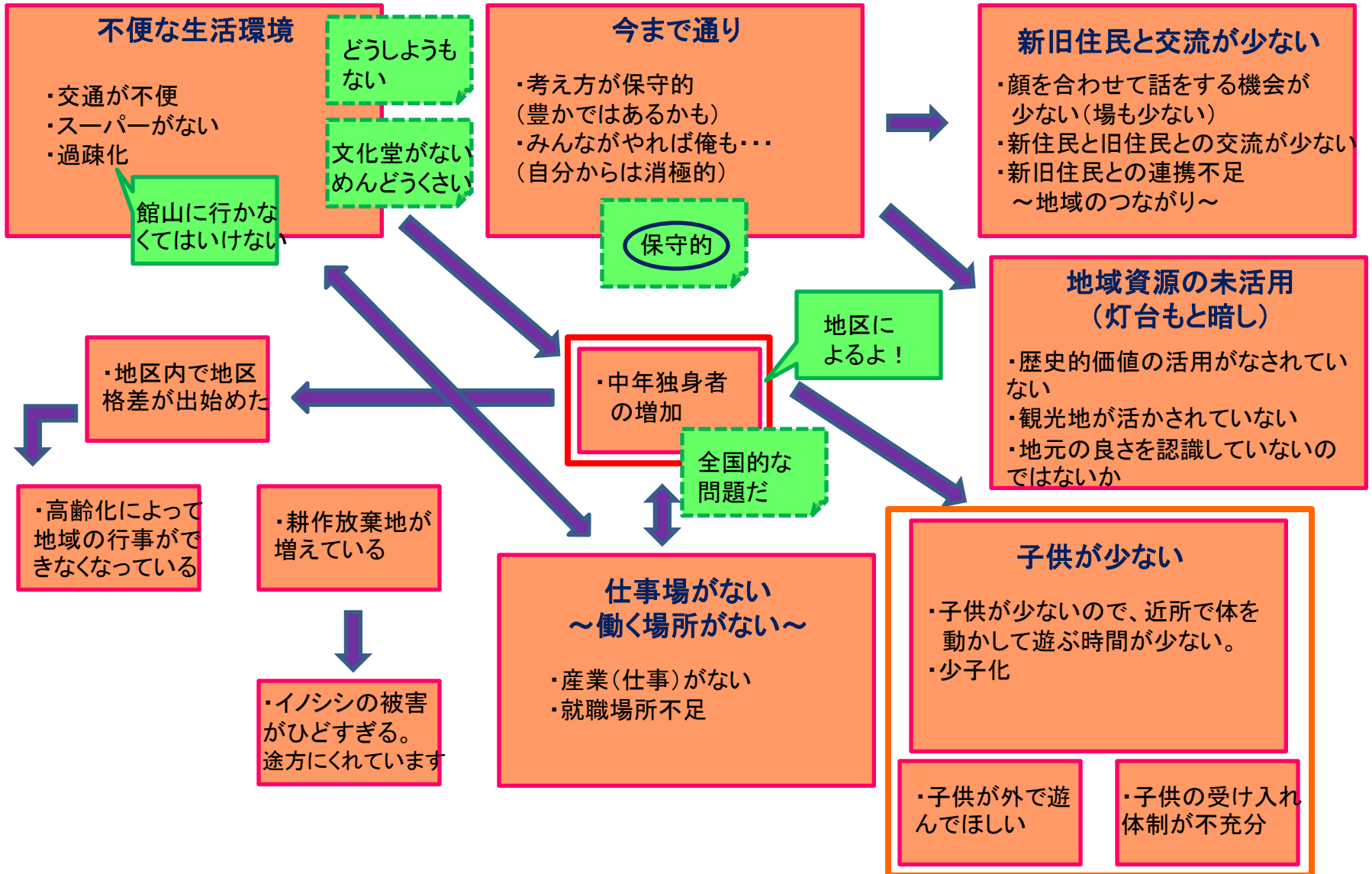


# 「自分たちのまちを、トンボの目で見てみよう！」

D班

～ちょっと困った、これから不安(地域の課題)考える～

伊勢田、中川、池上、  
白川、菅沼、角田





# 鎌田教授の各班へのコメント



## A班

- 自分たちの宝は気づきにくいですが、よそから来た人からの指摘で確認し合っていて、それが自然となっている。
- お世話係がポイントでうまく登場し、こういう活用の仕方があるかと参考になった。
- これからの地域は、よそから来られた方と地域の方が新しい魅力をどう築いていきかがポイントで、そういう点からも大変よい発表であった。



## B班

- 静かだが平等に、バランス良く良い意見が出ていた。
- 出た意見は平凡だったが、まとめで隣の班に対抗してテーマが人間に決まり、大いに話し合いが盛り上がり良かった。



## C班

- ものを書くことがなじまない場合は、お世話係に頼りながら、自分の意見を出していく。
- 聞いた意見を書き留めて加えているので、もとの意見が生きている。この部分が次回のワークショップで大いに生きてくる。
- 常に宝物を探しながら崩れる部分をセットで考えているところが大変よい。
- このメンバーで出した意見を積み上げていけばよくなる。はじめの一步としては大変よくできた。



## D班

- 最後までずっと立ち上った話し合いで、どの人が発表しても自分の言葉で発表できるくらい、課題に食いついていた。
- 課題ということで暗くなりがちだが、中年独身者の増加で話が大変盛り上がった。
- いろいろな宝物に気づいていない所を課題にしていることが立派である。
- A, B, C, Dがそれぞれ違う花を咲かせて違うものが出てきて、大変意義深いワークショップができた。